

## 令和元年度 第5回 こども部会 会議録

【日 時】 令和元年12月19日(木) 15:00~16:30

美馬町市民サービスセンター3階

【参加者】 発達障がい者総合支援センターアイリス、美馬小学校、池田支援学校美馬分校  
池田支援学校、美馬市長寿障がい福祉課、美馬市保険健康課、美馬市こどもすこやか課  
美馬市教育委員会教育研究所、つるぎ町保健センター、つるぎ町福祉課  
つるぎ町教育委員会、美馬保健所、ピース、こまち、ワンハート穴吹、  
障害者支援センター小星園、障害者支援センターかしがおか、相談支援センターイノセント

【会議録】 相談支援センターイノセント

### <会議内容>

#### 1. 医療的ケア児に対する支援体制について

(保護者及び関係機関向けのアンケート調査について)

・各アンケート調査の集計結果について資料を元に美馬市長寿障がい福祉課前野さんより説明がある。事業所向けアンケート調査については、20事業所の協力を得ることが出来た。保護者向けのアンケート調査については、聞き取った内容をまとめている。内容に不明な点などがあれば美馬市長寿障がい福祉課前野さんまで。集計結果を各関係機関が確認し、次回のこども部会で医療的ケア児に対する支援について検討していけるよう、各関係機関から意見をもらう予定。

#### 2. 特別支援学校送迎バスの利用について

・来年度、池田支援学校に進学を希望する児童数は美馬市4名(小学部:2名、中学部:2名)、つるぎ町1名(小学部)。全員が登下校時に学校のスクールバスの利用を希望している。

・池田支援学校スクールバスの現状として、現在、全席使用しており、空きがない。体験入学時に乗車希望を聞いているが、今後の方向性については県教育委員会と検討中であり、現段階では乗車について明確な答えが出ていない状態である。県教育委員会での対応が難しい場合は市町村のサービスを利用という話も出たが、県立学校のスクールバスの問題である為、県がしっかり対応すべきという意見があった。(市立小学校の合併には複数台のバスが出ている。)また、児童発達支援センターすぎのこのバスを利用させてもらえないかとの意見も出た。スクールバスに乗車が出来ない場合は家族の送迎が必要になるが家族の疾病や就労状況など個々の家庭環境により、毎日の送迎が難しく、学校に通えないケースが出てくる可能性がある。来年度、バス希望者5名が乗車できない可能性は否めないが、具体的な対応策等も見つかっていないのが現状である。

・今後の取り組みとして美馬市・つるぎ町の教育委員会が県教育委員会に現状と今後の対応について確認。結果を踏まえて今後の方向性を検討していくことになる。県教育委員会の回答があった場合、次回のこども部会(2月予定)での話し合いでは遅い為、状況によっては参加可能な機関だけで臨時のこども部会を開催することで関係機関の了解を得る。

■次回のこども部会：令和2年2月19日(水)開催予定